

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-192	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽Ⅱ 702	高校生の音楽2		

1. 編修の基本方針

私たちは、芸術科（音楽）の学習を通して、教育基本法第二条の目標を達成するために、次の 1 ～ 4 を編修の基本方針としました。

教育基本法

第二条（教育の目標）

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

下線部分は特に留意した点

1 自分の感性を軸にする

2 自分の頭で物事を捉え直す

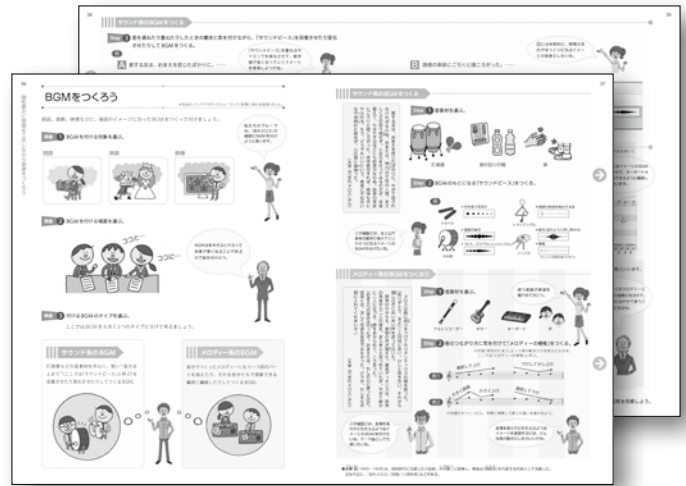
3 自分の体を動かす

4 他者と対話をする

1 自分の感性を軸にする

これまでの経験や学習で培われた自分自身の感性を学びの軸とします。

(p.36-39)



2 自分の頭で物事を捉え直す

幅広い知識と教養に触れ、自分なりの考えをもつことを目指します。

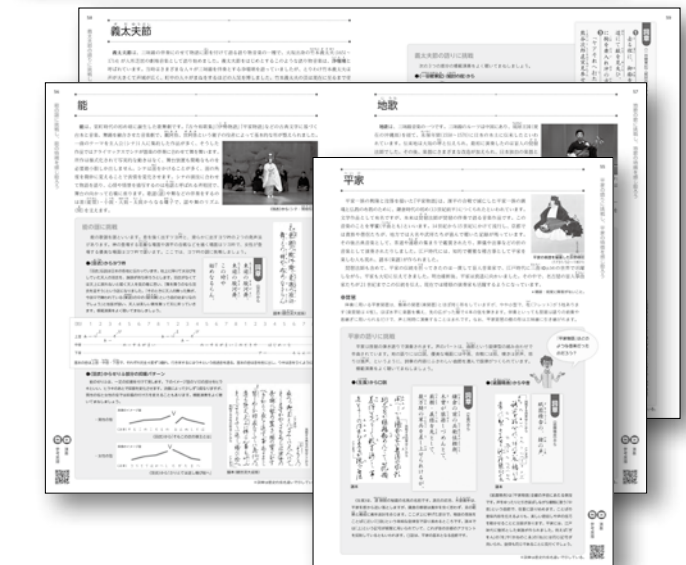
(p.44-47)



3 自分の体を動かす

自分の体を実際に動かし、感じ取ったことを学びにつなげます。

(p.55-59)



4 他者と対話をする

考えたことや感じたことを他者と共有し、さらに学びを深めます。

(p.68-69)



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
音楽って何だろう？	幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うために、多様な音楽に触れることの意義について掲載しました。(第一号)	p.2-3
	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、ポピュラー音楽を聴く際に注目すべき点を掲載しました。(第二号)	p.34-35
	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、社会変革の時代に音楽家としての生き方を模索した作曲家について掲載しました。(第三号)	p.47
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、音楽の基礎となる音律と音階について掲載しました。(第一号)	p.52-53 p.68-69
歌唱	正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、多様な個人を尊重することを歌った歌、人と人との出会いを尊ぶ歌、どのような状況でも前へ進むことを応援する歌などを掲載しました。(第三号)	p.4-5 p.8-9 p.10-11 p.12-13
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、日本人作曲家による歌を掲載しました。(第五号)	p.14-15 p.70-71 p.90-91
	幅広い知識と教養を身に付け、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、さまざまな形態の外国の歌を掲載しました。(第一号、第五号)	p.16-23 p.72-89 p.92-101
器楽	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、主体的に社会の形成に参画する態度を養うために、パートに分かれて合奏する教材を掲載しました。(第二号、第三号)	p.24-25 p.28-33 p.100-103
	伝統と文化を尊重し、個人の能力を伸ばすために、篠笛の教材を掲載しました。(第二号、第五号)	p.26-27
創作	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、自らのイメージをもとにBGMを創作する教材を掲載しました。(第二号、第三号)	p.36-39
鑑賞	幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、西洋音楽のさまざまな形態の音楽を掲載しました。(第一号、第五号)	p.40-51
	幅広い知識と教養を身に付け、生活との関連を重視し、生命を尊び、自然を大切にし、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、『ラーマ物語』を題材としたアジア各地の芸能、カメルーンのさまざまな音楽を、それぞれに適した視点から掲載しました。(第一号、第二号、第四号及び第五号)	p.62-65
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、日本の伝統音楽の概要及び平家、能、地歌、義太夫節、日本各地の伝統音楽などを、それぞれに適した視点から掲載しました。(第五号)	p.54-61
著作権	正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、著作権に関する理解を深める内容を掲載しました。(第三号)	p.112
その他の資料	幅広い知識と教養を身に付け、個人の能力を伸ばすために、日本の伝統音楽の口絵、日本のポピュラー音楽のジャンル、オーケストラの編成、西洋音楽の楽典、各言語の発音、音楽史年表などを掲載しました。(第一号、第二号)	p.6 p.66-67 p.104-111 p.113-119

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-192	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽Ⅱ 702	高校生の音楽2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。

「音楽って何だろう?」という問いを出発点として、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現を目指します。

(p.2-3)



2 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を図りました。

それぞれの音楽が、生活や社会の中でどのような意義や役割をもっているかを学びます。



(p.60-61)



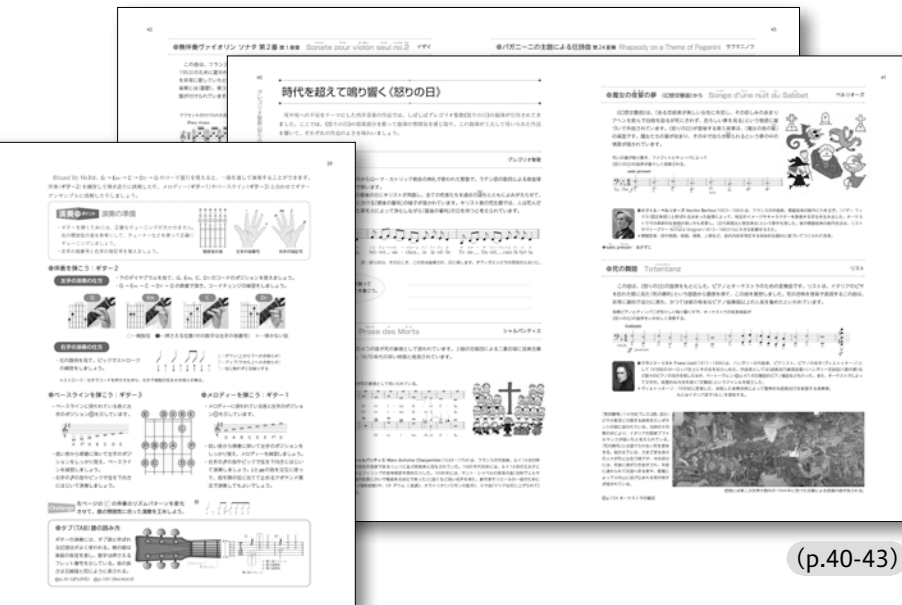
(p.64-65)

3 生きて働く「知識・技能」の習得を目指しました。

幅広い知識と技能を習得し、
充実した鑑賞活動につなげま
す。



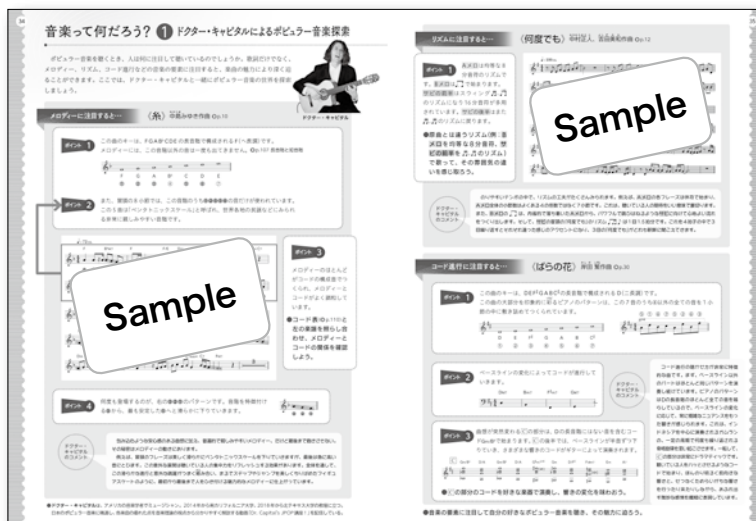
(p.28-29)



(p.40-43)

4 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指しました。

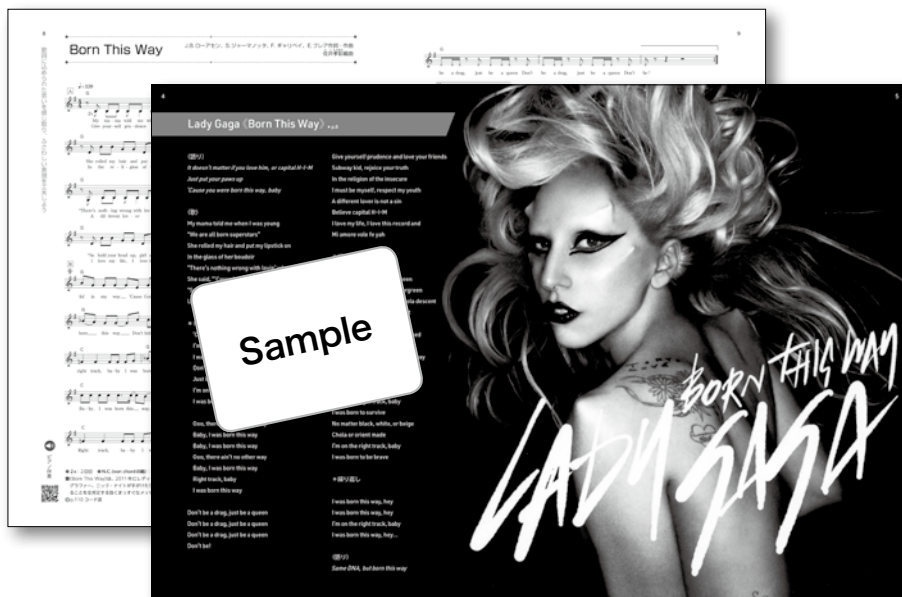
これまでの経験や学習で培わ
れた自分自身の感性を軸に、
自分の頭で思考・判断・表現
することを促します。



(p.34-35)

5 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指しました。

音楽の学習を通して、どのよ
うに社会や世界と関わり、よ
りよい人生を送るかを考えま
す。



(p.4-5,8-9)

6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次の点を重視して編修しました。 ①自分の感性を軸にする。 ②自分の頭で物事を捉え直す。 ③自分の体を動かす。 ④他者と対話をする。
	学習指導要領の遵守	●学習指導要領に示された芸術科（音楽）の目標を踏まえ、指導すべき内容項目を全て押さえました。
内容	系統性	●学習指導要領の内容に示された学習が段階的に進められるように、また上下の学年における学習とのつながりも考慮して教材を選択・配列しました。
	配列・分量	●学習がスムーズに行えるよう学習目標及び教材を配列し、教材や文章の分量も適切になるように配慮しました。
	歌唱教材	●生徒の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度を吟味しました。
	器楽教材	●各楽器の特徴を理解し、その表現活動に必要な基本的な技能を習得できるように内容を精選しました。
	創作教材	●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで生徒の思考の例を明示することによって、生徒の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるよう工夫しました。
	鑑賞教材	●生徒の発達段階や学習のねらいに合ったものを選択し、学習を進めるうえで有益な写真や譜例、資料などを合わせて示しました。
	伝統文化の尊重	●我が国の伝統的な音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。
	国際理解	●国際理解教育や外国語の学習との関連から、外国語の歌を多数掲載しました。
	社会とのつながり	●生活や社会と音楽とのつながりを実感できる資料を数多く掲載しました。
その他	ICT 機器の活用	●紙面上の二次元コードに埋め込まれた URL を読み取ることによって、指導に資する画像などのコンテンツを閲覧することができるようにしました。
	特別支援教育への配慮	●特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本	●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。
		●カラーページとモノクロページに分け、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されるよう工夫しました。製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっています。再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分配慮しています。

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																												
ページ	教材名	歌唱						器楽						創作				鑑賞				音楽を形づくっている要素								
		ア	イ			ウ		ア	イ			ウ		ア	イ	ウ		ア		イ		音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成	
			(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)		(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)			(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)										
8	Born This Way	○	○	○	○	○	○	○															○	○	○	○	○	○	○	○
10	糸	○	○	○	○	○	○	○															○	○	○	○	○	○	○	○
12	何度でも	○	○	○	○	○	○	○															○	○	○	○	○	○	○	○
14	からたちの花	○	○	○	○	○		○															○	○	○	○	○	○	○	○
16	うつろの心	○	○	○	○	○		○															○	○	○	○	○	○	○	○
18	君はまるで花のよう	○	○	○	○	○		○															○	○	○	○	○	○	○	○
20	おれは鳥刺し	○	○	○	○	○		○															○	○	○	○	○	○	○	○
22	ロウ人形、音人形	○	○	○	○	○		○															○	○	○	○	○	○	○	○
24	クラッピング カルテット 第2番							○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○		○	○	○	○
26	鼓動の舞／秋の宵							○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○
28	Stand By Me							○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○
30	ばらの花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○	○	○	○	○	○
36	BGMをつくろう														○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
40	時代を超えて鳴り響く《怒りの日》																	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	社会の大きな変革と音楽家～モーツァルト三大オペラ～																	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	音楽史上の大事件となった《春の祭典》																	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平家生食／祇園精舎	○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	能羽衣	○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	地歌黒髪／越後獅子	○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ページ	教材名	歌唱						器楽						創作			鑑賞						音楽を形づくっている要素									
		ア	イ			ウ			ア	イ			ウ			ア	イ	ウ	ア			イ			音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
			(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)				(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)								
58	義太夫節 一谷嫩軍記〈組討の段〉	○	○	○	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
60	日本各地の伝統音楽																		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
62	『ラーマ物語』を題材とした芸能																		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
64	音楽旅行記 世界をめぐれ! アフリカ音楽の DNA ～カメルーン～																		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		
70	浜千鳥	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
72	カタリ カタリ	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
74	優雅な月よ	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
76	愛の喜び	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
80	セレナード	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
84	君を愛す	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
86	夢のあとに	○	○	○	○	○		○																	○	○	○	○	○	○	○	
90	夏は来ぬ	○	○	○	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	
92	流浪の民	○	○	○	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	
95	いざ起て戦人よ	○	○	○	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	
96	アヴェ ヴェルム コルプス	○	○	○	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	
98	Shall We Dance?	○	○	○	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	
99	雨にぬれても	○	○	○	○	○	○	○																	○	○	○	○	○	○	○	
100	Blackbird	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
102	ロンド								○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○	